

2021年度事業計画

I. 事業方針

II. 重点事業

■ 地域産業の振興

1. 地域産業の競争力強化と成長産業の創出
2. 海外との経済交流拡大による地域産業の活性化
3. 山陽・山陰ブランド育成による観光産業の振興
4. グリーン成長に向けたエネルギー・環境政策の推進

■ 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

1. 圏域の拠点となる都市の機能強化
2. 中山間地域の再生
3. 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備
4. 地域の活性化に資する地方分権等の実現

■ 地域社会を支える人づくり

1. 産業振興を支える人材の育成
2. 多様な人材の活躍推進

III. 行政・経済団体等との連携・懇談活動等

I. 事業方針

わが国経済は、コロナ禍による深刻な景気悪化から回復の兆しはあるものの、依然厳しい状況が続いている。

中国地域も同様の状況であるが、人口減少をはじめ構造的な課題に直面する当中国地域が、地域間競争を勝ち抜き持続的な発展を遂げていくためには、コロナ禍で生じた社会変化に的確に対応しつつ、デジタル化の取り組みを加速するとともに、魅力的な地域づくりにより東京一極集中の是正を図ることが求められている。

このような情勢認識のもと、2021年度事業計画では、中国経済連合会ビジョンに掲げる「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」の実現に向け、「産業」づくり・「地域」づくり・「人」づくりを推進する観点から、中期活動方針として掲げた次の3点を事業活動の柱として取り組むこととする。

■ 地域産業の振興

地域産業の競争力強化に向けては、生産性の向上や新たな価値創造を図ることが益々重要となっていることから、デジタルなどの先端技術の活用によるオープンイノベーションを促進するため、国や自治体、大学、企業・スタートアップなどが連携するエコシステムづくりに取り組んでいく。

また、今後成長が期待される観光産業についても、瀬戸内の多島美を活かしたクルーズ振興や、やまなみ街道等を活用したサイクルツーリズム推進など、新たな観光需要の創出に取り組むとともに、いずれ回復が見込まれるインバウンド需要を視野に入れ、2025年の大阪・関西万博をターゲットにしたデジタルマーケティングや受入環境整備を行っていく。

さらに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、カーボンリサイクル等革新的な技術開発を含めた脱炭素イノベーションの創出を幅広く支援していく。

■ 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

豊かで活力ある中国地域の実現に向けては、東京一極集中を是正し多核連携型社会を目指すとともに、地域自らの魅力を高めていくため、災害時のリダンダンシー確保や広域的な人やモノの交流を促進させる道路・通信等のインフラ整備を着実に進めるほか、人口のダム機能を果たす広域経済圏の形成を進める。さらには、ICTを活用し医療・教育・交通等の一元的な課題解決による中山間地域の再生にも取り組んでいく。

■ 地域社会を支える人づくり

企業人材の育成に向けては、裾野の広い中堅・中小企業を中心にデジタル技術の積極的な活用を支援するため、地域の大学と連携し、リカレント教育を活用した高度ICT人材の育成に取り組むとともに、明日の当地域を担う人材育成に向けては、若者や女性の起業支援、留学生の就業支援など、多様な人材の活躍推進に取り組む。

(参考)

[中国経連ビジョン 2016年6月策定]

～目指す将来像(2030年頃の姿)～

活気に溢れ豊かさが実感できる中国地方
～地域の自立と連携による広域経済圏の確立～

国際競争力のある産業に
支えられた地域

豊かで住みやすい
魅力的な地域

創造力豊かな
多様な人材の溢れる地域

人口減少・
超高齢社会
の進展

アジア諸国の
著しい成長
不確実性を増
す世界情勢

第4次産業革命
の進展
デジタルトランスフォーメーション

政府の成長戦略
(2050年カーボンニュートラルに向けた
グリーン成長戦略
ポストコロナに向けた企業の改革支援
中小企業の支援強化)

2025年
大阪・関西万博
2022年, 2025年
瀬戸内国際芸術祭

【中期事業計画】

各事業を通じて、SDGs達成に貢献する(事業計画とSDGsの関係は別表に示す)

創造的な社会「Society5.0」の実現で未来を切り拓く
～中国地方の持続的発展に向けて～

「産業」づくり

- Society5.0 実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築
- アジア新興国との経済交流拡大
- 魅力的な観光地づくり・外国人観光客の受入環境整備

「地域」づくり

- 広域連携・都市機能の強化
- 中山間地域振興, 農商工連携の推進
- 交通・情報インフラ等の基盤整備・利活用促進

「人」づくり

- 若手人材の地域への定着促進
- プロフェッショナル人材の育成
- 働き方改革, 多様な人材活躍等の推進

【中国経連の役割・中国地方の課題】

中国経連ビジョン

役割

中国5県を活動領域とする経済団体として、行政、各地域の経済団体・大学等と連携を図りながら、地域の活性化と発展に資する支援活動や提言・要望活動を展開し、中国経済連合会ビジョンに掲げる将来像の実現を目指す。

課題

人口減少・超高齢社会への対応

ものづくり産業を
中心とした
地域産業の活力増進

地域の特産品や
自然, 歴史・文化など
地域資源の活用

地域活性化を支える
社会基盤の整備

人材の育成・確保と多様な人材の活躍推進

II. 重点事業（要旨版）

■ 地域産業の振興

※下線部は 2021 年度新規事業

1. 地域産業の競争力強化と成長産業の創出

製造業比率の高い中国地域においては、第4次産業革命の潮流の中でデジタル技術の活用等によりオープンイノベーションを加速し、基幹産業の競争力強化、新規成長産業の育成を図ることが急務となっている。その実現に向けて、イノベーション・エコシステムの構築を推進するとともに、産学官連携により新たな技術・製品開発を支援する。

[中国地域の製造業の付加価値額 8兆円以上（過去3年平均 7.6兆円）]

(1) Society5.0 実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築

① デジタル技術等を活用したオープンイノベーションの定着

関連組織の連携や共創を促す仕組み、場の創出に引き続き取り組むとともに、先進的なシーズを持つ企業の発掘、地域企業のニーズの整理、デジタル技術の実装サポート企業の発掘により連携の促進を図る。一連の活動を支える人材育成に重点的に取り組み、自律して活動が回るエコシステムの構築を目指す。

(オープンイノベーションを促進する連携強化・機会創出)

- ・域内外の先進企業・地元企業・自治体・大学等の連携や共創を促すネットワークと機会を創出するため、地元企業のニーズ・先進企業等のシーズ・実装サポート企業の3領域を結びつけるための場を提供する。また、中国地域コーディネーターのネットワーク強化を図る。
- ・ひろしまサンドボックス・金融機関と連携し、課題解決に際し外部の力を必要としている地元企業、先端技術や新たなビジネスモデルの実装を推進する先進的スタートアップ、実装のサポートや保守メンテ等を担う地元企業の発掘を行う。
- ・当地域の先進的な取り組みを行う機関の機能強化に向けた共同研究・事業化を支援する。

(地域産業振興を支える人材の育成)

- ・企業の求める人材の育成に向けたステップと必要なカリキュラム等を紐づけたICT人材育成ロードマップや受講の時間・場所の制約のない安価で実践的なカリキュラムの構築・実施・広域展開により、当地域に不足している高度ICT人材を中心に、企業のニーズに即した人材育成を推進する。
- ・中堅・中小企業のデジタル技術実装推進に向けてキーパーソンを育成し、ものづくり企業に対するICT人材育成を支援する。
- ・キャンパスベンチャーグランプリ中国や学生向けビジネスアイデア創出・プラン作成セミナーを開催し、若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲を醸成する。

② デジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組む企業の拡大

- ・講演会・意見交換の場の提供によりDX推進に取り組む企業マインドを醸成する。

(2) 産学官連携の推進による新たな技術・製品開発の取り組み支援

- ・各機関や企業等が取り組む新技術・新製品の開発を促進するための産学官マッチング(共同研究等)の拡大に向け、「中国地域産学官コラボレーション会議」を通じた情報収集・発信のハブ機能強化や「中国地域産学官連携コンソーシアム」への参画，企業間マッチングネットワーク（リンカーズ）を活用した企業間マッチングを行う。

2. 海外との経済交流拡大による地域産業の活性化

コロナ禍を踏まえ，Webセミナー・オンライン商談会・越境EC等を活用し，アジア新興国の経済成長を取り込み地域産業の活性化につなげる観点からの中国地域製品の輸出促進・海外展開支援，地域企業の国際競争力強化に資する国際交流事業の拡大，外国グローバル人材の活用促進，海外情報提供の拡充等を図る。

(1) アジア新興国等への企業進出支援，事業展開・輸出促進

- ・地域製品の輸出増加，地域企業の海外進出拡大のため，他地域経済団体との連携・プラットフォーム活用等による海外展開促進，ジェトロ等と連携した海外オンライン商談会の開催等による輸出促進，中国地域農産品・工芸品等の輸出促進に向けた中国経済産業局や地域商社等との連携を強化する。

(2) 外国人材の活用促進

- ・外国人材の活用・戦略化による地域企業の競争力強化のために，留学生の就業支援や企業ニーズに基づく外国人材受け入れ環境整備支援に関する調査（コロナ禍における外国人雇用状況・課題把握の調査）を実施する。

(3) 中国地域企業の国際化に有用な情報収集，海外視察・調査の実施

- ・他地域の経済団体や他機関との連携により，海外展開に有用な最新の海外現地情報や支援策等の情報を収集し，提供する（Web，会報）。

3. 山陽・山陰ブランド育成による観光産業の振興

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある観光産業の回復に向け，当面重要となる国内観光振興に資する取り組みに加え，来るべきインバウンドの本格回復を視野に入れた取り組みも継続する必要がある。このため，コロナ禍を踏まえた新たな観光資源の磨き上げ，情報発信，受入環境整備の支援に取り組む。

(1) コロナ禍を踏まえた観光資源の磨き上げ

①瀬戸内海の魅力活用による観光振興の推進

- ・瀬戸内海の魅力活用の観点から，「瀬戸内海クルーズ推進会議」と連携した情報発信や国内商談会，FAMツアー，シートレードグローバル（マイアミ）によるクルーズ船社誘致活動，瀬戸内国際芸術祭（2022）や大阪・関西万博（2025）に向けたクルーズ企画の検討を行う。さらに，瀬戸内海における航路を活用した周遊観光の可能性を調査する。

②中山間地域の魅力活用によるサイクルツーリズムの推進

- ・中国地域を“サイクルツーリズムの先進地”とすべく、国、自治体等と連携したサイクリング大会（「やまなみ街道サイクル『道の駅』でん」）を開催する。

③消費拡大につながる滞在型観光の推進

- ・自治体等と連携し、消費拡大に向けた「賑わいづくり」に関する新たな方策を策定するほか、新たな観光スタイルの促進に向けた支援としてコロナ時代の観光産業のあり方に関する調査の実施や講演会等の実施によるワーケーション等新たな観光スタイルの促進に取り組む。

（２）インバウンド回復を見据えた情報発信

- ・海外との関係の維持・強化を図るため、中国地方インバウンドフォーラムを継続開催するほか、アジア旅行市場へのWebサイト・SNS等を活用した、コロナ収束後のニーズに対応した情報発信を行う。

（３）インバウンド回復を見据えた受入環境整備

- ・外国人向け観光案内所増設および機能強化の支援や引き続き無料Wi-Fi環境の整備促進に取り組む。
- ・食に関し多様な外国人旅行者ニーズに対応する飲食店等の情報発信を行う。
- ・外国人旅行者の広域周遊促進に向けた2次交通利用の拡大のため、高速バスやレンタカーで周遊できる中国地方観光地の動画・WebサイトのWeb広告による情報発信を行う。

4. グリーン成長に向けたエネルギー・環境政策の推進

2050年カーボンニュートラル（実質CO₂排出ゼロ）の実現には、再エネ推進や原子力活用等によるエネルギー源の脱炭素化に加え、水素利用やカーボンリサイクルをはじめ革新的な技術開発による脱炭素イノベーションの創出が不可欠。エネルギー多消費型の比率が高い中国地域においても、産業競争力を強化するため、低廉で安定的なエネルギーの確保はもちろん、脱炭素イノベーションによるグリーン成長を実現するエネルギー・環境政策の推進に取り組む。

（１）エネルギー・環境政策に関する調査・啓発活動と政策要望

- ・2050年カーボンニュートラルの実現に向けた政策や第6次エネルギー基本計画の策定に向けた政策の動向等に関する調査・情報収集を行うとともに、カーボンニュートラルの実現に向けた講演会およびエネルギー関連施設視察会を開催する。さらに、再生可能エネルギーや原子力の利用促進、カーボンリサイクルなど脱炭素技術開発の推進、カーボンプライシングへの対応などについて政府等へ要望活動を行う。

（２）脱炭素イノベーション創出の促進

- ・次世代エネルギーやカーボンリサイクルの開発動向、脱炭素イノベーション創出

に関する調査・情報収集・啓発活動を行うとともに、脱炭素化技術開発の促進に向けた産学官による意見交換会の開催を検討する。

(3) 民生部門における脱炭素化の促進

- ・民生部門の脱炭素化に向け、官民連携した啓発活動や自治体と連携した民生部門の脱炭素化促進に向けたオンライン講演会を開催する。

■ 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

1. 圏域の拠点となる都市の機能強化

東京一極集中を是正し、中国地方に人材・企業を呼び込むため、国の機関や自治体が進める広域ビジョンの実現に向けて、中核都市圏の都市機能強化、産業基盤強化等に必要な施策の支援や提言等を実施する。

(1) 広域連携・都市機能の強化に向けた提言、行政との連携強化

- ・国や自治体が取り組む広域ビジョン「中国圏広域地方計画」、「広島広域都市圏発展ビジョン」、「中海・宍道湖・大山圏域発展ビジョン」実現に向け、協議会等への参画や提言により支援する。
- ・関門圏域の一体的な発展に向けて、関門圏域の観光・産業振興・社会基盤整備等への取り組みを支援する。

2. 中山間地域の再生

中国地方の約8割を占めており、過疎化・高齢化が進む中山間地域の持続性確保の観点から、経済活性化と生活基盤の維持に取り組む。具体的には、農業・異業種連携による農業の成長産業化やICT等を活用した持続可能な生活基盤の構築、人口の還流に向けた取り組みなど、地域づくりの先進事例をベースとした効果的な各種施策の展開を支援する。

(1) 持続可能な中山間地域モデルの事業化・普及促進

- ・当地域の中山間地域振興策との連携を推進するとともに、地域農産品・地域工芸品等のブランド化・販売促進に引き続き取り組む。
- ・農商工連携等による中山間地域経済の活性化に向けて、持続可能な稼げる中山間地域づくりの方策を策定するとともにスマート農業技術の実証・普及に向けた産学官プラットフォームの提供やスマート農業ラボの設置支援等を行う。
- ・中山間地域における持続可能な生活基盤の維持のため、持続可能な暮らせる中山間地域づくりのためのICTを活用した医療・交通・防災等課題解決モデルを策定し、特定の市町に対する実装に向けた具体的な課題解決提案を実施するとともに、課題解決モデルの他の市町への水平展開を図る。
- ・中山間地域への人口還流、関係人口の創出・拡大に向けて、広島広域都市圏UIJターナー促進協議会等への参加を通じて連携施策を検討するとともに、UIJター

ンや二地域居住の促進等に資する自治体と連携した具体的施策を推進する。

3. 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備

コロナ禍を背景にあらためて東京一極集中の是正・地域創生の重要性が高まる中、地域の自立・活性化に向けた広域的な経済・生活圏の形成を促すとともに、持続可能で強靱な地域社会を支える交通基盤・情報インフラの整備促進に向けた取り組みの支援・提言等を行う。

(1) 交通・情報インフラ等の基盤整備・利活用の促進

① 高速道路網のミッシングリンク解消の推進および広域連携・国土強靱化に資する基幹道路網の整備促進

・山陰道の早期全線供用に向けた地元行政・経済界との連携に基づく要望活動，都心部・都市間を結ぶ広域道路網整備への気運醸成や要望活動，産学官連携による災害時の都市圏の交通マネジメント機能（交通混乱の抑制等）の強化，下関北九州道路整備への機運要請や要望活動に取り組む。

② 時代に即した港湾の整備・利活用の推進

・国際物流の活性化に向け、拠点港湾の整備促進，災害に強い物流システムの構築，コロナ禍も踏まえた物流の効率化施策の推進（労働力不足への対応，ICTなどの新技術の活用拡大等）に取り組む。

・コロナ禍を踏まえたクルーズの振興に向けた受入環境整備促進，海上・水上交通の連携強化，港を中心とした賑わいづくり支援に取り組む。

・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化のため，カーボンニュートラルに資する港湾整備への支援を行う。

③ 航空ネットワークの維持・拡大

・中国地域の拠点空港としての広島空港の機能充実・強化のため，アクセス網の整備促進や2次交通基盤の活性化促進に取り組む。

④ 広域幹線鉄道網の整備に向けた課題検討

・中国地域の未整備区間における新幹線整備に関する動向調査・検討を行う。

⑤ 地域課題解決を目的とした自治体へのICT実装拡大およびICT利活用に関する啓発活動の最新動向や事例の共有

・広島広域都市圏ICT推進協議会への参画，ラウンドテーブル活用，行政の原課への動機づけとしてオープンデータ利活用事例の共有により，地域課題解決促進のためのオープンデータ利活用促進活動の展開を図る。

・課題解決につながる企業データのカタログサイト構築に向けて，ひろしまサンドボックスと連携して，企業・団体が保有するデータを掲載する仕組みを構築する。

・企業と地域大学とのデータ活用連携体制の構築に向けて，広島大学AI・データイノベーション教育研究センターと連携し，データ分析共有プラットフォームにデータを提供する企業を発掘する。

- ・課題解決にICT（AI/IoT, 5G, クラウド等）を活用した最新事例を紹介, 意見交換の場を提供する。

4. 地域の活性化に資する地方分権等の実現

中国5県の産業競争力の強化, 自立・活性化, 防災・減災対策の促進等の観点から, 行財政上の課題を調査・研究し, 政府等への政策提言等を行うとともに, 地方自治体と連携した地方分権改革の気運醸成や, 中国地域または中四国地域の広域的な検討が必要とされている課題について, 官民連携した対応策を協議し, 必要に応じて共同施策を実行する。

(1) 税制・社会保障制度改革の提言, 地方分権改革の推進

①中国5県の活性化に資する行政・財政制度の検討と政府への提言等を通じた着実な実現

- ・中国5県の地域課題の調査を踏まえ, 地域の持続的成長に資する税制改革案をとりまとめの上, 与党税制調査会等へ提言する。
- ・税制改革, 財政健全化, 社会保障制度改革, 首都圏一極集中是正等に関する講演会を開催する。
- ・地方分権改革・広域連携推進の気運醸成に資する取り組みを展開する。
- ・広域防災および企業の防災・減災対策（BCP・BCM）に資する取り組みを展開する。

(2) 広域的課題への官民連携した取り組みの促進

- ・中国地域または中四国地域の広域的な課題について, 「中国地域発展推進会議」(中国5県, 各県経済界代表, 当連合会) や「中四国サミット」(中四国9県, 四経連, 当連合会) において, 対応策に関する官民での共通認識を形成し, 解決策の実現を図る。

■ 地域社会を支える人づくり

1. 産業振興を支える人材の育成

人口減少・少子高齢化が進むとともに, デジタル技術の活用やオープンイノベーションの推進等による地域の産業振興・競争力強化を支える人材の育成が喫緊の課題となる中, 学生と地域企業との交流の場づくりによる若手人材の地域定着促進, リカレント教育による企業内の高度ICT人材や産学官連携推進人材の育成支援等に取り組む。

(1) 若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲の醸成, プロフェッショナル人材の育成

①産学官連携による学生～社会人に対する連続したキャリア教育・リカレント教育の仕組みづくりおよび若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲の醸成（P20記載再掲）

- ・企業の求める人材の育成に向けたステップと必要なカリキュラム等を紐づけたI

ICT人材育成ロードマップや受講の時間・場所の制約のない安価で実践的なカリキュラムの構築・実施・広域展開により、当地域に不足している高度ICT人材を中心に、企業のニーズに即した人材育成を推進する。

- ・中堅・中小企業のデジタル技術実装推進に向けてキーパーソンを育成し、ものづくり企業に対するICT人材育成を支援する。
- ・キャンパスベンチャーグランプリ中国や学生向けビジネスアイデア創出・プラン作成セミナーを開催し、若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲を醸成する。

2. 多様な人材の活躍推進

コロナ禍により新たな働き方が求められ、生産年齢人口の減少に伴う人手不足に加え、高度・専門・グローバル人材やダイバーシティへのニーズが高まる中、企業の働き方改革の推進や人材確保の取り組みを支援するとともに、女性、外国人を含む多様な人材の活躍推進に向けた促進事業および啓発活動を行う。

(1) 働き方改革・多様な人材活躍等の推進

- ・コロナ禍における新たな働き方を含む事例紹介や講演会の開催、意見交換の場の提供等により、働き方改革の一層の推進と企業の人材確保を支援する。
- ・女性による起業・イノベーションを推進し、女性活躍ロールモデルの顕在化を促進するため、中国地域女性ビジネスプランコンテスト「SOERU」の開催や自治体等と連携した企業実務者レベル対象のセミナー・研修会を開催し、女性社員の職域拡大・キャリアアップを支援する。
- ・オンリーワン・ナンバーワン企業紹介冊子・Webサイトを活用して留学生の就職を支援するほか、コロナ禍における中国地域の外国人雇用状況・課題把握のための調査の実施、課題解決に向けた環境整備等要望の実施、セミナーの開催や企業と外国人材の交流会開催等により企業における外国人材の活用を支援する。
- ・コロナ禍を踏まえたテレワーク等を含む働き方改革・人口減少対策および就労と子育てが両立できる環境整備等（育児サービス、税制・社会保障制度）に関する提言や要望を実施する。

Ⅲ. 行政・経済団体等との連携懇談活動等（要旨版）

- 中国地域発展推進会議や中国地方経済懇談会等を通じて、行政や他の経済団体との連携を強化し、広域的課題への対応を促進する。
- 国等への提言・要望への支援を働き掛けるため、中国地方選出国會議員との懇談会を開催するほか、会員の意見を事業活動に反映するための地区会員懇談会を開催する。

以上

II. 重点事業(詳細版)

■ 地域産業の振興

1. 地域産業の競争力強化と成長産業の創出

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|---|---|
| <p>(1) Society5.0実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築</p> <p>○デジタル技術等を活用したオープンイノベーションの定着</p> | <p>これまで進めてきた、関連組織の連携や共創を促すための仕組み、場の創出に引き続き取り組む。また、先進的なシーズを持つ企業の発掘、地域企業のニーズを幅広く整理するとともに、デジタル技術の実装をサポートする地域企業を発掘し連携の促進を図る。一連の活動を支える人材育成は地域共通の課題として特に重点的に取り組み、自律して活動が回るエコシステムの構築を目指す。</p> <p>1. オープンイノベーションを促進する連携強化・機会創出</p> <p>①域内外の先進企業・地元企業・自治体・大学等の連携や共創を促すネットワークと機会の創出</p> <p>○<u>地元企業のニーズ・先進企業等のシーズ・実装サポート企業の3領域を結びつけるための場の提供</u> ・<u>地域の企業や大学と、域内外の先進的スタートアップ・企業等を結びつけるための場を提供し、新たなビジネス・共同研究等の創出を支援する</u></p> <p>○コーディネート機能の強化 広域連携による企業ニーズへの対応力を強化する ・<u>中国地域コーディネーターの情報共有、ネットワークの強化(コーディネーター情報「コーディネーターマップ」の公開)</u></p> <p>○中国地域デジタルイノベーション推進基盤(当連合会、中国創研、産総研)主催による「中国地域におけるデジタル技術活用促進にかかわる懇談会(第4回)」を開催し、情報共有・意見交換を実施</p> <p>②<u>地元企業のニーズ・先進企業等のシーズ・実装サポート企業の発掘(「ひろしまサンドボックス」・金融機関と連携強化)</u></p> <p>○<u>地元企業の課題・ニーズの発掘</u> ・<u>課題解決に際し、外部の力を必要としている地元企業を発掘</u></p> <p>○<u>域内外企業等のシーズ・ソリューションの発掘</u> ・<u>先端技術や新たなビジネスモデルの実装を推進するため、先進的スタートアップ・企業等を発掘・紹介</u></p> <p>○<u>実装のサポートや保守メンテ等を担う地元企業を発掘</u></p> <p>③<u>当地域の先進的な取り組みを行う機関の機能強化に向けた共同研究・事業化支援</u></p> <p>○広島県と島根県における素材研究の連携促進 (いずれも内閣府：地方大学・地域産業創生事業)</p> <p>○広島県の「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」を支援</p> |

製造業比率の高い中国地域においては、第4次産業革命の潮流の中でデジタル技術の活用等によりオープンイノベーションを加速し、基幹産業の競争力強化、新規成長産業の育成を図ることが急務となっている。その実現に向けて、イノベーション・エコシステムの構築を推進するとともに、産学官連携により新たな技術・製品開発を支援する。

[中国地域の製造業の付加価値額 8兆円以上（過去3年平均 7.6兆円）]

※下線部は2021年度新規事業

| 活動指標（KPI） | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|--------------------------------|--|---|---|----------------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| | | | | 産業技術 (情報通信) |
| ○共催セミナー/交流会 開催(10回/年) | 共催セミナー/交流会 | 共催セミナー/交流会 | 共催セミナー/交流会 | |
| ○コーディネーター マップの公開 | △ コーディネーターマップ 公開 | △ コーディネーターマップ 更新 | △ コーディネーターマップ 更新 | |
| ○デジタル技術活用 促進懇談会開催 (1回/年) | △ コーディネーター研修 推進基盤 幹事会 ▲ ▲ デジタル技術の 活用促進懇談会 △ 〔推進基盤主催〕 〔経産局共催〕 | △ コーディネーター研修 推進基盤 幹事会 ▲ ▲ デジタル技術の 活用促進懇談会 △ | △ コーディネーター研修 推進基盤 幹事会 ▲ ▲ デジタル技術の 活用促進懇談会 △ | |
| ○企業発掘(5社/年) | 対象企業の発掘 | 対象企業の発掘 | 対象企業の発掘 | |
| ○企業紹介(10社/年) | 企業発掘・連携調整・紹介 | 企業発掘・連携調整・紹介 | 企業発掘・連携調整・紹介 | |
| ○交流会開催(1回/年) | 交流会 △ | 交流会 △ | 共同研究 | |
| | (素材研究, MBR領域を基軸とした他地域との連携を模索) | | | |
| | △ 意見交換 △ (必要に応じて支援) | △ 意見交換 △ (必要に応じて支援) | △ 意見交換 △ (必要に応じて支援) | |

| <p>中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)</p> | <p>2021年度事業計画 活動内容</p> |
|--|--|
| <p>○デジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む企業の拡大</p> | <p>2. 地域産業振興を支える人材の育成</p> <p>①企業人材の育成支援(リカレント教育) 当地域に不足している高度ICT人材を中心に、企業のニーズに即した人材育成を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業が求める人材育成に必要なカリキュラム等の見える化 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の求める人材の育成に向けたステップと必要なカリキュラム等を紐づけたICT人材育成ロードマップの作成 ・2020年度作成カリキュラムマップの活用促進・アップデート ○企業ニーズに即したカリキュラムの構築・展開 <ul style="list-style-type: none"> ・受講の時間・場所の制約のない安価で実践的なカリキュラムの構築・広域展開の支援 ・データサイエンス領域において、企業ニーズに即した”デファクトカリキュラム”を構築し、地域内に幅広く展開する(大阪大学(HRAM)と連携) ○ものづくり中堅・中小企業に対するICT人材育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中堅・中小企業のデジタル技術実装推進に向けてキーパーソンを育成(現場に密着し、ICTによる課題解決を通して人材育成を行う機関と連携) <p>②学生の育成支援(キャリア教育, アントレプレナー教育) 若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲を醸成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学キャリア教育との連携強化による、学生の地域企業認知度の向上と地域への定着促進 (学生と教職員による地域企業訪問の促進) ○大学アントレプレナー教育関係者との連携を強化し、学生の社会的課題に対する関心を高め、これらをビジネスで解決するスキルの向上を推進。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 学生向け「ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー」を開催 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国を開催 </div> <p>①DX推進に取り組む企業マインドの醸成 ・最先端のデジタル技術や新たなビジネスモデル等を有する企業・機関・スタートアップの社会課題解決の取り組み等に関する講演会、意見交換の場を提供</p> |
| <p>(2)産学官連携の推進による新たな技術・製品開発の取り組み支援</p> | |
| <p>○各機関や企業等が取り組む新技術・新製品の開発を促進するための産学官マッチング(共同研究等)の拡大</p> | <p>①「中国地域産学官コラボレーション会議」を通じた情報収集・発信のハブ機能強化 ・コラボ全体会議の開催 ・メルマガの発信</p> <p>②「中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)」に参画し大学(コディネーター)向けの企業ニーズ発信会開催</p> <p>③企業間マッチングネットワーク(リンカーズ)を活用したマッチングの拡大と課題解決への支援</p> |

| 活動指標 (K P I) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|---|--|--|--|----------------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○人材育成ロードマップ公開 (3月) ○リカレント講座開設 (1件/年) ○カリキュラムへの企業ニーズ反映 (100名モニター実施) ○キーパーソン育成 (10名/年) ○企業訪問受入れ企業の拡大 (15社/年) ○セミナー開催 (参加校数 10校 学生数 30名) ○講演会開催 (1回/年) | △ WG開催 △ マップ 公開 △ リカレント講座 ・実践的カリキュラムの構築・実施支援 ・企業モニター実施 (カリキュラムのブラッシュアップ) △ 育成講座 産学官連携によるキャリア教育推進方法の検討 教職員企業訪問の実施 △ ビジネスプラン作成セミナー (モチベーションアップ イベント) △ △ CVG 中国・全国 △ 講演会 | △ WG開催 △ マップ 更新 △ リカレント講座 ・実践的カリキュラムの構築・実施支援 ・企業モニター実施 (効果の確認、カリキュラムのブラッシュアップ) △ 育成講座 産学官連携キャリア教育の仕組みに関する提案 教職員企業訪問の実施 △ ビジネスプラン作成セミナー (モチベーションアップ イベント) △ △ CVG 中国・全国 △ 講演会 | △ WG開催 △ マップ 更新 △ リカレント講座 ・参加企業拡大 ・広域展開 △ 育成講座 産学官連携キャリア教育の広域化の検討 教職員企業訪問の実施 △ ビジネスプラン作成セミナー (モチベーションアップ イベント) △ △ CVG 中国・全国 △ 講演会 | 産業技術 (情報通信) |
| ○コラボ全体会議開催 (1回/年) ○メルマガ発信 (1回/月) ○産学官マッチングイベントを開催 (1回/年) ○シーズ・ニーズのマッチング実現 (リンカーズに関する会員企業への情報発信 (1回以上/年)) | △ コラボ全体会議 情報収集・メルマガ発信 △ 新技術説明会 △ 産から学へのプレゼン リンカーズシステムを活用した企業間のマッチング | △ コラボ全体会議 情報収集・メルマガ発信 △ 新技術説明会 △ 産から学へのプレゼン リンカーズシステムを活用した企業間のマッチング | △ コラボ全体会議 情報収集・メルマガ発信 △ 新技術説明会 △ 産から学へのプレゼン リンカーズシステムを活用した企業間のマッチング | 産業技術 |

2. 海外との経済交流拡大による地域産業の活性化

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|---|--|
| (1) アジア新興国等への企業進出支援, 事業展開・輸出促進 | |
| <p>○地域産品の輸出増加, 地域企業の海外進出拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業による輸出増加 〔現状の中国地域輸出額 全国シェア6.5%(2019)〕 ・アジア新興国への進出拡大 | <p>①アジア新興国等への海外展開・輸出促進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外オンライン商談会等を活用した中国地域のお酒プロモーション(海外バイヤー試飲・説明等)の実施 ・他地域経済団体との連携・プラットフォーム活用等による海外展開促進事業の実施 ・ジェットロ等と連携した海外オンライン商談会の開催等による輸出促進事業の実施 ・中国地域農産品・工芸品等の輸出促進に向けた, 中国経済産業局や地域商社等との連携強化・連携事業の推進 <p>②アジア新興国等との交流事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府機関要人と企業とのWebビジネスミーティングを開催する等, マレーシア投資開発庁(MIDA)との交流協定を活かした交流事業の実施 ・中国地域経済の発展に資する新たな交流先(中華民国工商協進会等)の検討 <p>③ジェットロ等との連携による海外ビジネスノウハウの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットロ等と連携した海外ビジネスノウハウ提供のためのWebセミナー開催等による海外事業展開・輸出促進支援 <p>④中国地域における海外交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外交流の受入環境・体制整備に関する方策の検討・推進 |
| (2) 外国人材の活用促進 | |
| <p>○外国人材の活用・戦略化による地域企業の競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地域の専門的・技術的分野の外国人就労者数 〔(2020年10月) 9,525人→ 11,500人〕 | <p>①留学生就業の支援, 就労推進(県・大学等との連携強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等と連携した「オンリーワン・ナンバーワン企業」冊子およびWebサイトを活用した留学生の中国地域への就業促進 ・「オンリーワン・ナンバーワン企業」情報の拡充 <p>②企業のニーズに基づく, 外国人材受け入れ環境整備等に関するセミナー開催・要望実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における中国地域の外国人雇用状況・課題把握のための調査, 課題解決に向けた環境整備等要望の実施 ・Webセミナー等の開催による企業の外国人材活用支援 |
| (3) 中国地域企業の国際化に有用な情報収集, 海外視察・調査の実施 | |
| <p>○海外経済・政治情勢等に関する適宜・的確な情報収集・提供</p> | <p>①海外経済視察団の派遣案(例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素戦略(水素エネルギー活用)およびウィズコロナ時代の観光産業の取組み状況と今後の展開(オーストラリア・ニュージーランド) ・デジタル化戦略およびハイテク産業の取組み状況と今後の展開(台湾・シカゴ・ポル) <p>②海外展開に有用な基礎情報の収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の経済団体や他機関との連携による最新の海外現地情報や支援策等の情報提供(Web, 会報) |

コロナ禍を踏まえ、Webセミナー・オンライン商談会・越境EC等を活用し、アジア新興国の経済成長を取り込み地域産業の活性化につなげる観点からの中国地域産品の輸出促進・海外展開支援、地域企業の国際競争力強化に資する国際交流事業の拡大、外国グローバル人材の活用促進、海外情報提供の拡充等を図る。

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|--|--|--|--|-----|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○海外展開・輸出促進 (海外展開・輸出促進事業の実施 2回/年) | 関係先、出展企業との調整 → △ 輸出促進事業実施 成約フォロー → 他経連との連携・調整 → △ 海外展開促進事業の実施 ジェトロとの連携・調整 → △ 輸出促進事業実施 経産局・地域商社との連携 → △ 連携事業の実施 | 関係先、出展企業との調整 → △ 輸出促進事業実施 成約フォロー → 他経連との連携・調整 → △ 海外展開促進事業の実施 ジェトロとの連携・調整 → △ 輸出促進事業実施 経産局・地域商社との連携 → △ 連携事業の実施 | 関係先、出展企業との調整 → △ 輸出促進事業実施 成約フォロー → 他経連との連携・調整 → △ 海外展開促進事業の実施 ジェトロとの連携・調整 → △ 輸出促進事業実施 経産局・地域商社との連携 → △ 連携事業の実施 | 国際 |
| ○マレーシアとの経済交流 (交流事業の実施等 1回/年) | MID Aとの調整 マレーシア 交流事業 ↑ ↓ | MID Aとの調整 マレーシア 交流事業 企業ニーズ等の把握 | MID Aとの調整 マレーシア 交流事業 | |
| ○海外ビジネスノウハウの提供 (海外事業展開・輸出促進支援事業 2回/年) | 新規交流先 新規交流先 の検討・調整 現地調査 △ 海外事業展開・輸出促進支援事業 受入事業 △ | 新規交流先 新規交流先 との調整・交渉 協定締結 △ 海外事業展開・輸出促進支援事業 ジェトロ等海外支援機関等との連携 受入事業 △ 受入関係先との調整・方策検討 | 交流先との調整 交流事業 △ 海外事業展開・輸出促進支援事業 受入事業 △ | |
| ○外国人材の活用促進 (留学生就業支援事業 1回/年) | 冊子・Webサイトを 活用した外国人留学生の中国地域への就業支援 △ 留学生就業支援事業 大学・留学生支援機関等との連携 企業紹介情報拡充 | △ 留学生就業支援事業 大学・留学生支援機関等との連携 企業紹介情報拡充 | △ 留学生就業支援事業 大学・留学生支援機関等との連携 企業紹介情報拡充 | |
| ○企業の国際人材活用 に係る課題把握と環境整備支援 (調査・要望 1回/年) | 外国人材雇用の現状と 課題に関する調査実施 → △ 環境整備等要望 △ 外国人材活用支援事業 | 企業の国際化・外国人材 活用課題のフォロー → △ 環境整備等要望 △ 外国人材活用支援事業 | 企業の国際化・外国人材 活用課題のフォロー → △ 環境整備等要望 △ 外国人材活用支援事業 | |
| ○海外事業に有用な 情報収集・提供 (調査団派遣 1回/年) | 視察先検討 現地調査団 調査報告 情報収集 派遣 △ △ 他地域の経済団体や他機関と連携した海外現地情報収集 △ 情報提供実施 | 視察先検討 現地調査団 調査報告 情報収集 派遣 △ △ 他地域の経済団体や他機関と連携した海外現地情報収集 △ 情報提供実施 | 視察先検討 現地調査団 調査報告 情報収集 派遣 △ △ 他地域の経済団体や他機関と連携した海外現地情報収集 △ 情報提供実施 | |

3. 山陽・山陰ブランド育成による観光産業の振興

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|--------------------------------|--|
| (1) コロナ禍を踏まえた観光資源の磨き上げ | |
| ○瀬戸内海の魅力活用による 観光振興の推進 | <p>① “瀬戸内海クルーズ” 振興の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「瀬戸内海クルーズ推進会議」と連携した情報発信およびクルーズ船社誘致活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・国内商談会, FAMツアーの実施 ・シートレードグローバル (マイアミ) での誘致活動の実施 ・瀬戸内国際芸術祭 (2022), 大阪・関西万博 (2025) に向けたクルーズ企画の検討 <p>②瀬戸内海における航路を活用した周遊観光の可能性調査 (中国電力, 中国地域創造研究センターとの共同研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光コンテンツ造成の可能性および寄港地の受入環境の現状と課題に関する調査の実施 |
| ○中山間地域の魅力活用による サイクルツーリズムの推進 | <p>①新たなサイクリングルートの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまなみ街道を活用したサイクリングルートの開発 <ul style="list-style-type: none"> ・国, 自治体等と連携したサイクリング大会 (「やまなみ街道サイクル『道の駅』でん」) の開催 |
| ○消費拡大につながる滞在型観光 の推進 | <p>①「賑わいづくり」に関する方策策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治体等と連携した新たな取り組みの検討・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・消費拡大に向けた「賑わいづくり」に関する新たな方策策定および取り組みの実施 <p>②新たな観光スタイルの促進に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ時代の観光産業のあり方に関する調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中国地域における「ウィズコロナ」時代の観光産業のあり方に関する調査への参画 ○ワーケーション等新たな観光スタイルの促進に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーションに関する講演会の実施 ・ワーケーション先進事例視察の実施 |
| ○歴史的な資源を活用した新たな観光地整備 | <p>①歴史的な街道の活用 (中国地方整備局との連携事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夢街道ルネサンス事業の継続実施 ○ちゅうごく街道交流会議による活動団体支援 ○日本風景街道ちゅうごくの活性化策の策定 |
| ○観光産業の実態把握調査 | <p>①コロナ禍の観光産業への影響調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長期化するコロナ禍による観光事業者への具体的影響や課題等に関するアンケート調査の実施 <p>②中国地域の観光地の魅力度調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○首都圏在住者を対象としたアンケート調査実施と情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模市場圏から見た中国地域の観光地の訪問経験, 訪問希望, その理由等を調査 |

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある観光産業の回復に向け、当面重要となる国内観光振興に資する取り組みに加え、来るべきインバウンドの本格回復を視野に入れた取り組みも継続する必要がある。このため、コロナ禍を踏まえた新たな観光資源の磨き上げ、情報発信、受入環境整備の支援に取り組む。

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|-----------------------------------|--|--------------------------------------|---|------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○瀬戸内海クルーズの誘致活動 (1回/年) | “瀬戸内海クルーズ”に関する情報発信 △誘致活動 (マイアミ) △誘致活動 (国内) △クルーズ推進会議実施 | △クルーズ推進会議実施 | △クルーズ推進会議実施 | 観光文化 |
| | 航路、受入環境の実態調査 観光事例調査船社等へのヒアリング 報告書取りまとめ | 港湾関係先へ働きかけ | オプションツアー組成に向けた支援 (ショートクルーズや体験型観光造成などの支援) | |
| ○「やまなみ街道サイクル『道の駅』でん」の開催 (1回/年) | 大会準備 △大会実施 結果検証 | | | |
| ○具体的方策の策定 (1件/年) | 先進事例調査 方策検討 具体的方策提案 | | 他地域への展開可能性検討 | |
| ○講演会の開催 (1回/年) | 現状調査 観光関連事業者へのアンケート調査 先進事例調査 課題解決方策取りまとめ 講演会実施 先進事例調査 | | 他地域への展開可能性検討 | |
| ○夢街道ルネサンスの新規認定 (1地区/年) | △交流会議・認定式 △認定 認定団体、行政との勉強会・交流会の実施 | △交流会議・認定式 △認定 認定団体、行政との勉強会・交流会の実施 | △交流会議・認定式 △認定 認定団体、行政との勉強会・交流会の実施 | |
| ○活性化策策定 | 活性化方策の検討 | | 活性化方策の導入・実施 | |
| ○調査実施と関係箇所への情報提供 | アンケート調査 △ 調査とりまとめ | | | |
| | 首都圏在住者対象調査 △ プレス・報告書配布 | 関西圏在住者対象調査 △ プレス・報告書配布 | 九州圏在住者対象調査 △ プレス・報告書配布 | |

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|--------------------------------|---|
| (2) インバウンド回復を見据えた情報発信 | |
| ○海外との関係の維持・強化に向けた情報発信の継続 | ①観光事業者の海外プロモーション活動の支援 ○中国地方インバウンドフォーラムの開催 ②アジア旅行市場への情報発信 ○Webサイト・SNS等を活用した、 <u>コロナ収束後のニーズに対応した情報発信</u> |
| (3) インバウンド回復を見据えた受入環境整備 | |
| ○外国人観光客向け情報環境の向上 | ①外国人向け観光案内所増設および機能強化の支援 ○中国地域への誘客増加に向けた観光案内所機能の充実への支援 ○中国地域の観光案内所のネットワーク化と人材育成 ・観光案内所スタッフを対象とした研修会開催 ②無料Wi-Fi環境の整備促進 ○中国5県と連携した整備計画の推進による強化等 |
| ○多様な食習慣に対応可能な飲食・宿泊施設の拡大 | ①食に関する多様な外国人旅行者ニーズに対応する飲食店等の情報発信 ○ベジタリアンムスリムガイドマップを活用したWebサイト等での継続的な情報発信 |
| ○外国人観光客の広域周遊促進に向けた2次交通利用の拡大 | ①都市間高速バス等の活用による広域周遊観光の促進 ○ <u>高速バスやレンタカーで周遊できる中国地方観光地の動画・WebサイトのWeb広告による情報発信</u> |

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|--|---|-------------------------|----------------------|------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○インバウンド商談会の実施 〔 1回/年 〕 | 前回課題抽出 △ 商談会開催 | 前回課題抽出 △ 商談会開催 | 前回課題抽出 △ 商談会開催 | 観光文化 |
| | Webサイト・SNS等での情報発信 | | | |
| ○外国人観光案内所の増設・機能強化支援 〔 2ヶ所増設/年 〕 | 観光案内所の充実に向けた働きかけ (中国地域観光推進協議会と連携) | | | 観光文化 |
| | △ 研修会開催 | △ 研修会開催 | △ 研修会開催 | |
| ○外国人観光客への無料Wi-Fi環境の整備による利便性向上 〔 整備率：100% 〕 | △ 整備計画 見直し | △ 整備進捗状況の把握 と追加整備 | △ 整備計画 見直し | 観光文化 |
| | △ 整備進捗状況の把握 と追加整備 | △ 整備進捗状況の把握 と追加整備 | △ 整備計画 見直し | |
| ○高速バス・レンタカーの外国人旅行者利用拡大に向けた環境整備 〔 webサイトでの動画 〕 | 中国経済連合会、中国地域観光推進協議会、観光関係団体のwebサイトを活用した情報発信 △ | | | 観光文化 |
| | 新規ベジタリアンムスリム対応店舗追加分電子版作成 | | | |
| ○高速バス・レンタカーの外国人旅行者利用拡大に向けた環境整備 〔 webサイトでの動画 〕 | Webサイトでの動画発信 | | | 観光文化 |
| | 交通事業者の公式サイトでの情報発信 | | | |
| 2021年度の実績を踏まえ、次の取り組みを検討 | | | | 観光文化 |

4. グリーン成長に向けたエネルギー・環境政策の推進

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|---------------------------------------|--|
| (1) エネルギー・環境政策に関する調査・啓発活動と政策要望 | |
| <p>○カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの進展</p> | <p>①エネルギー・環境政策の動向に関する調査・情報収集およびカーボンニュートラルの実現に向けた政策への理解促進・啓発活動</p> <p>[主な調査・情報収集内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・革新的環境イノベーション戦略など2050年カーボンニュートラルの実現に向けた政策の動向 ・再生可能エネルギーの主力電源化，原子力の利用促進などエネルギーミックスの実現や第6次エネルギー基本計画の策定に向けた政策の動向 ・海洋プラスチック問題など資源循環にかかる政策の動向 <p>[理解促進・啓発活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルの実現に向けた講演会およびエネルギー関連施設視察会の開催 <p>②政府等への政策要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・環境政策の産業界への影響や会員アンケートを踏まえ，再生可能エネルギーや原子力の利用促進，カーボンリサイクルなど脱炭素技術開発の推進，カーボンプライシングへの対応などについて政府等へ要望 |
| (2) 脱炭素イノベーション創出の促進 | |
| <p>○革新的な技術開発による脱炭素イノベーション創出の促進</p> | <p>①次世代エネルギーやカーボンリサイクルの開発動向，脱炭素イノベーション創出に関する調査・情報収集と理解促進・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水素基本戦略，カーボンリサイクル技術開発の進捗状況等に関する調査・情報収集 ・「水素・次世代エネルギー研究会」と連携した講演会の開催 ・脱炭素イノベーションの創出にかかる意見交換会等の開催 <p>②脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルに資する港湾整備への支援 |
| (3) 民生部門における脱炭素化の促進 | |
| <p>○ライフスタイルの転換等を通じた温室効果ガス排出削減の促進</p> | <p>①民生部門の脱炭素化に向けた理解促進・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国地域発展推進会議による民生部門の脱炭素化促進に向けた官民連携した啓発活動 ・自治体と連携した民生部門の脱炭素化促進に向けたオンライン講演会の開催 |

2050年カーボンニュートラル（実質CO2排出ゼロ）の実現には、再エネ推進や原子力活用等によるエネルギー源の脱炭素化に加え、水素利用やカーボンリサイクルをはじめ革新的な技術開発による脱炭素イノベーションの創出が不可欠。エネルギー多消費型の比率が高い中国地域においても、産業競争力を強化するため、低廉で安定的なエネルギーの確保はもちろん、脱炭素イノベーションによるグリーン成長を実現するエネルギー・環境政策の推進に取り組む。

| 活動指標（KPI） | 活動スケジュール | | | 委員会 | |
|--|--|--|--|---------|--|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | | |
| ○政策推進に向けた調査・啓発活動と要望 〔 講演会 2回 視察会 1回 要望 1回 〕 | 調査・情報収集 △ 委員会 △ 講演会 視察会 講演会 △ 会員アンケート 要望 | 調査・情報収集 △ 委員会 △ 講演会 視察会 講演会 △ 会員アンケート 要望 | 調査・情報収集 △ 委員会 △ 講演会 視察会 講演会 △ 会員アンケート 要望 | エネルギー環境 | |
| ○脱炭素化技術開発に向けた啓発活動 〔 講演会 2回 意見交換会 1回以上 〕 | 調査・情報収集 △ 委員会 △ 講演会 講演会 △ 意見交換会 国および港湾利用企業との連携による 検討会（年2～3回） | 調査・情報収集 △ 委員会 △ 講演会 講演会 △ 意見交換会 | 調査・情報収集 △ 委員会 △ 講演会 講演会 △ 意見交換会 | | |
| ○脱炭素化に向けた啓発活動 〔 啓発活動 1回 講演会 1回 〕 | △ 推進会議 啓発活動 △ 講演会 | △ 推進会議 啓発活動 △ 講演会 | △ 推進会議 啓発活動 △ 講演会 | | |

■ 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進

1. 圏域の拠点となる都市の機能強化

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|--|---|
| <p>広域連携・都市機能の強化に向けた提言，行政との連携強化</p> <p>○国や自治体に取り組む広域ビジョン実現に向けた支援と連携</p> | <p>①「中国圏広域地方計画」実現に向けた支援 ・中国圏広域地方計画協議会への参画と施策充実への支援</p> <p>②「広島広域都市圏発展ビジョン」実現に向けた支援 ・広島の拠点性強化に向けた懇談会・WGへの参加・提言</p> <p>③「中海・宍道湖・大山圏域発展ビジョン」実現に向けた支援 ・中海・宍道湖・大山圏域市長会の取り組み支援(施策実施状況のフォローアップ，国への要望等)</p> <p>④関門圏域の一体的な発展への取組支援 ・関門圏域の観光・産業振興・社会基盤整備等への取り組み支援</p> |

東京一極集中を是正し、中国地方に人材・企業を呼び込むため、国の機関や自治体が進める広域ビジョンの実現に向けて、中核都市圏の都市機能強化、産業基盤強化等に必要な施策の支援や提言等を実施する。

| 活動指標（KPI） | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|---------------------|---|----------|----------|-------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| 〔 提言・要望 2件/年以上 〕 | ①広域地方計画中間評価 △幹事会 | | | 地域づくり |
| | ①広域地方計画のフォローアップ 広域地方計画PT | 広域地方計画PT | 広域地方計画PT | |
| | ②③都市機能強化・広域連携強化に向けた活動 地元行政・経済界等との意見交換、活性化に向けた調査・提言、要望（年1回） | | | |
| | ④関門圏域の一体的な発展に向けた関係機関との連携による活動 地元行政・経済界等との意見交換、活性化に向けた調査・提言、要望（年1回） | | | 関門連携 |

2. 中山間地域の再生

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|-------------------------------|--|
| 持続可能な中山間地域モデルの事業化・普及推進 | |
| ○中山間地域における地域振興の取り組みとの連携・施策推進 | ①中山間地域における地域振興策との連携・施策推進 ・たたらの里づくりプロジェクトの地域振興施策推進支援 ②国内外における地域農産品・地域工芸品等のブランド化・販売促進に向けた方策の検討・推進 ・中国経済産業局，他地域の経済団体，ジェトロ等と連携したWebセミナーやオンライン商談会の開催による地域産品の販売促進等の取り組み推進 |
| ○農商工連携等による中山間地域経済の活性化 | ①持続可能な稼げる中山間地域づくり方策の策定・推進 ・農産品の利益拡大のための方策（異業種連携等）および販売拡大のための方策（地域商社の活性化等）に係る調査の実施 ・調査結果に基づく方策の推進および提言の実施 ②中山間地域に適したスマート農業技術の開発・普及方策の検討・推進 ・スマート農業技術の実証・普及に向けた産学官連携プラットフォームの提供と実証事業形成支援，ならびにスマート農業ラボの設置支援 |
| ○中山間地域における生活基盤の維持 | ①ICTを活用した中山間地域における暮らしの課題解決モデルの策定・実装 ・持続可能な暮らせる中山間地域づくりのためのICTを活用した医療・交通・防災等課題解決モデルの策定 ・特定の市町に対する実装に向けた具体的な課題解決提案実施 ・課題解決モデルの他の市町への水平展開 |
| ○中山間地域への人口還流 | ①人口還流，関係人口の創出・拡大に向けた連携・施策推進 ・広島広域都市圏UIJターン促進協議会等への参加を通じた自治体との連携施策の検討 ・UIJターンや二地域居住の促進等に資する自治体と連携した具体的施策の推進 |

中国地方の約8割を占めており、過疎化・高齢化が進む中山間地域の持続性確保の観点から、経済活性化と生活基盤の維持に取り組む。具体的には、農業・異業種連携による農業の成長産業化やICT等を活用した持続可能な生活基盤の構築、人口の還流に向けた取り組みなど、地域づくりの先進事例をベースとした効果的な各種施策の展開を支援する。

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|--|---|---|---|-------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○地域製品の販売促進 (地域製品販売促進事業 2回/年) | 行政・地域振興機関等との連携 → △ 行政・振興機関等との 連携事業の実施 | 行政・地域振興機関等との連携 → △ 行政・振興機関等との 連携事業の実施 | 行政・地域振興機関等との連携 → △ 行政・振興機関等との 連携事業の実施 | 地域づくり |
| | 行政機関・経済団体等との連携 → △ 行政機関・経済団体等 との連携事業の実施 △ 地域製品販売促進事業 | 行政機関・経済団体等との連携 → △ 行政機関・経済団体等 との連携事業の実施 △ 地域製品販売促進事業 | 行政機関・経済団体等との連携 → △ 行政機関・経済団体等 との連携事業の実施 △ 地域製品販売促進事業 | |
| ○稼げる中山間地域づくり方策の策定・推進 (方策の策定完了) | 中山間地域づくり方策に関する調査 → △ 方策策定・提言 | 中山間地域づくり方策の推進 → | 中山間地域づくり方策の推進 → | |
| (農業・異業種連携等の 機会の提供 2回/年) | △ 農業・異業種連携事業 △ 地域商社連携促進事業 | △ 農業・異業種連携事業 △ 地域商社連携促進事業 | △ 農業・異業種連携事業 △ 地域商社連携促進事業 | |
| ○スマート農業の推進 (スマート農業ラボ設置支援完了) | スマート農業普及活動 → △ スマート農業ラボ △の設置支援 スマート農業モデル研究会 | スマート農業普及活動 → △ スマート農業モデル研究会 | スマート農業普及活動 → △ スマート農業モデル研究会 | |
| ○暮らしの課題解決モデルの策定・推進 (モデル策定・提案完了) | 課題解決モデル策定 → △ 市町へ提案 | 課題解決モデル実装への支援 → 他の市町への水平展開 | 課題解決モデルのフォローアップ → | |
| (他の市町への提案実施) | 自治体との連携 → △ 自治体との 連携施策実施 | 自治体との連携 → △ 自治体との 連携施策実施 | 自治体との連携 → △ 自治体との 連携施策実施 | |

3. 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|---|---|
| 交通・情報インフラ等の基盤整備・利活用の促進 | |
| <p>【道路】</p> <p>○高速道路網のミッシングリンク解消の推進</p> <p>○広域連携・国土強靱化に資する基幹道路網の整備促進</p> | <p>【道路】</p> <p>①山陰の高速道路ミッシングリンク解消の推進 山陰道の早期全線開通に向けた、地元行政・経済界との連携に基づく機運醸成、要望活動の実施</p> <p>②中核都市圏の機能強化に向けた基幹道路網の整備促進 都心部、都市間を結ぶ広域道路網整備促進への機運醸成、要望活動 (1)山陽自動車道(岡山・広島間)のダブルルート化(山陽道と並走する地域高規格道路の整備促進) (2)広島都市圏、岡山・倉敷・福山都市圏、中海・宍道湖・大山圏域における都心部道路網の整備促進</p> <p>③災害時における道路機能強化(災害対応力強化)の促進 (1)既設トンネル・橋梁等の老朽化・安全対策促進 (2)暫定2車線区間の4車線化等による交通機能強化 (3)産学官連携による災害時の都市圏の交通マネジメント機能(交通混乱の抑制等)の強化</p> <p>④関門圏域の一体的発展に資する道路整備の促進 下関北九州道路の整備促進への機運醸成、要望活動</p> |
| <p>【港湾】</p> <p>○時代に即した港湾の整備・利活用の推進</p> | <p>【港湾】</p> <p>①国際物流の活性化に向けた施策の展開 (1)拠点港湾の整備促進、災害に強い物流システムの構築 (2)コロナ禍も踏まえた物流の効率化施策の推進(労働力不足への対応、ICTなどの新技術の活用拡大等)</p> <p>②クルーズの振興に向けた基盤整備・利活用促進 コロナ禍を踏まえたクルーズの振興に向けた受入環境整備促進、海上・水上の連携強化、港を中心とした賑わいづくり支援</p> <p>③脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化 カーボンニュートラルに資する港湾整備への支援</p> |
| <p>【空港】</p> <p>○航空ネットワークの維持・拡大</p> | <p>【空港】</p> <p>①航空路の維持・拡大に向けた諸施策の促進 施設の整備促進、利用促進、感染対策など地元行政等との連携に基づく要望活動の実施</p> <p>②中国地域の拠点空港としての広島空港の機能充実・強化 アクセス網の整備促進、2次交通の活性化促進</p> |
| <p>【鉄道】</p> <p>○広域幹線鉄道網の整備に向けた課題検討</p> | <p>【鉄道】</p> <p>①中国地域の未整備区間における新幹線整備に関する動向調査・検討</p> |

コロナ禍を背景にあらためて東京一極集中の是正・地域創生の重要性が高まる中、地域の自立・活性化に向けた広域的な経済・生活圏の形成を促すとともに、持続可能で強靱な地域社会を支える交通基盤・情報インフラの整備促進に向けた取り組みの支援・提言等を行う。

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|---|--|---------|---------|-------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○高速道路・基幹道路網の整備促進 (提言・要望 3件以上/年) | △総括要望 | △総括要望 | △総括要望 | 地域づくり |
| | ①山陰道等の整備促進 ・山陰道の早期全線開通、米子自動車道(米子・境港間)の早期事業化に向けた要望活動 | | | |
| | ②各都市圏・都市間道路の整備促進活動の展開(山陽道のダブルルート化) ・広島都市圏〔広島都市圏道路、東広島廿日市道路・福山本郷道路等〕の都市圏交通網の整備促進 | | | |
| | ・岡山都市圏〔岡山倉敷道路、岡山環状道路等〕の整備促進 | | | |
| | ③災害時における道路機能強化に向けた調査・提言 ・都市圏災害時交通マネジメント検討会への参画 検討会(年1~2回)、総合訓練・社会実験等 | | | |
| | ・災害時公共交通情報提供研究会への参画 研究会(年3回程度) | | | |
| | ■個別重点路線の整備促進強化へ向けた関係機関との連携による活動 ・広島都市圏道路〔東広島廿日市道路、広島高速等〕の整備促進 △総会, 要望 | △総会, 要望 | △総会, 要望 | |
| ○拠点港湾の活用に向けた交通・物流基盤の整備促進 (提言・要望 2件以上/年) | ・下関北九州道路の整備促進 整備促進大会・要望(年1~2回), △検討会・意見交換会(年3~4回) | | | 関門連携 |
| | | | | |
| ○航空ネットワークの維持・拡大 (提言・要望 1件以上/年) | ①物流活性化策の検討・実施 ・中国地方国際物流戦略チームを通じた物流強化策の検討・実施 利用者懇談会(年2~3回)、部会(年1回)、本会議(年1回)、先進港湾の視察等 | | | 地域づくり |
| | ・官民学連携による物流効率化施策の検討・実施 ヒアリング・アンケート等の実施、検討会等 | | | |
| | ②瀬戸内海クルーズ振興会議、広島湾域旅客船ネットワーク活用推進協議会等を通じた振興策の検討・実施 国内商談会・現地視察会(年2回程度)、海外プロモーション(年1回、マイアミ)、山陰との意見交換等 | | | |
| | ③国および港湾利用企業との連携による施策の検討 検討会(年2~3回) | | | |
| | ■個別重点港湾の整備促進強化に向けた関係機関との連携による活動 ・広島港・福山港の整備促進 △要望 | △要望 | △要望 | |
| ○中国地域の未整備区間における新幹線の早期整備に向けた課題検討 △課題検討 | ①航空路の維持・拡大に向けた検討, 要望 地元行政・経済界等との意見交換(年2~3回) | | | |
| | ②広島空港 民営化(R2.7.1)を踏まえた地域拠点空港としての整備促進 広島空港アクセス対策WG(年1~2回) | | | |
| | ①中国地域の未整備区間における新幹線の早期整備に向けた課題検討 △課題検討 | △課題検討 | △課題検討 | |

| <p style="text-align: center;">中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿)</p> | <p style="text-align: center;">2021年度事業計画 活動内容</p> |
|---|--|
| <p>【情報】 ○地域課題解決を目的とした自治体へのICT実装拡大</p> | <p>【情報】 ①地域課題解決促進のためのオープンデータ利活用促進活動の展開 (中国総合通信局と連携し、オープンデータ利活用ラウンドテーブルを運営)</p> <p>○広島広域都市圏ICT推進協議会に参画し、データ整備促進活動を実施、ラウンドテーブルを活用し5県への浸透を図る</p> <p>○行政の原課への動機づけとしてオープンデータ利活用事例を共有 (各種イベントでラウンドテーブルの成果物であるアプリ等を紹介)</p> <p>○5県2市の防災領域データ整備進捗状況を定期的にモニターし共有</p> <p>○中央の動向・方針(行政のデジタル化、官民データの連携等)を地域内に展開</p> <p>②データ利活用のための基盤づくり</p> <p>○課題解決につながる企業データのカタログサイト構築 ・ひろしまサンドボックスと連携し、企業・団体が保有するデータを掲載する仕組みを構築～将来的には中国地域全体を対象を拡大</p> <p>○企業と地域大学とのデータ活用連携体制の構築 ・広島大学 AI・データイノベーション教育研究センターと連携し、データ分析共有プラットフォームにデータを提供する企業を発掘</p> <p>○行政のデータを整備・利活用する技術者を地域教育機関と連携し育成 ・産業技術総合研究所「人工知能研究センター」観光WGと協働</p> |
| <p>○ICT利活用に関する啓発活動 最新動向や事例の共有</p> | <p>○課題解決にICT(AI/IoT, 5G, クラウド等)を活用した最新事例を紹介, 意見交換の場を提供</p> <p>○地方放送局をめぐる環境が大きく変化している状況を踏まえ, 放送との連携に関わる政策, 市場動向および先進事例等を紹介</p> <p style="text-align: center;">〔中国地域ICT利活用研究会 ・放送と通信の連携などに関わる講演会・研究会〕</p> |

| 活動指標 (K P I) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|-------------------------------------|--|--|--|------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○ラウンドテーブル 開催 (3回/年) | △中国情報通信懇談会総会 △第1回 △第2回 △第3回 | △中国情報通信懇談会総会 △第1回 △第3回 | △中国情報通信懇談会総会 △第1回 △第3回 | 情報通信 |
| ○掲載企業の発掘 (5社/年) | 企業探索活動 ↓ データ活用検討 ↓ データ P F へ反映 (先進企業の 保有データを 利活用) | 企業探索活動 ↓ データ活用検討 ↓ データ P F へ反映 (先進企業の 保有データを 利活用) | 企業探索活動 ↓ データ活用検討 ↓ データ P F へ反映 (先進企業の 保有データを 利活用) | |
| ○広域展開のための ノウハウ整理 | △WG開催 ・安来市での展開 | △WG開催 △WG開催 ・他自治体への展開 | | |
| ○中国地域 I C T 利活用研究会開催 (2回/年) | △ △ 中国地域 I C T 利活用研究会 | △ △ 中国地域 I C T 利活用研究会 | △ △ 中国地域 I C T 利活用研究会 | |
| ○放送と通信の連携 などに関わる講演会 開催 (1回/年) | △ 放送と通信の連携など に関わる講演会 | △ 放送と通信の連携など に関わる講演会 | △ 放送と通信の連携など に関わる講演会 | |

4. 地域の活性化に資する地方分権等の実現

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|---|--|
| (1) 税制・社会保障制度改革の提言，地方分権改革の推進 | |
| <p>○中国5県の活性化に資する行政・財政制度の検討と，政府への提言等を通じた着実な実現</p> | <p>①中国5県の地域課題の調査を踏まえ，地域の持続的成長に資する税制改革案をとりまとめの上，与党税制調査会等へ提言</p> <p>②税制改革，財政健全化，社会保障制度改革，首都圏一極集中是正等に関する講演会の開催</p> <p>③地方分権改革・広域連携推進の気運醸成に資する取り組みの展開</p> <p>④広域防災および企業の防災・減災・防疫対策（BCP・BCM）に資する取り組みの展開</p> |
| (2) 広域的課題への官民連携した取り組みの促進 | |
| <p>○中国地域または中四国地域の広域的な課題について，対応策に関する官民での共通認識の形成と解決策の実現</p> | <p>①「中国地域発展推進会議」（中国5県，各県経済界代表，当連合会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド観光の振興や新型コロナウイルスの影響と対応策など時宜に応じた広域的課題等について協議 ・民生部門の脱炭素化促進に向けて官民連携した啓発活動を展開 <p>②「中四国サミット」（中四国9県，四経連，当連合会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策，観光振興，交通ネットワーク整備等の課題を協議 |

中国5県の産業競争力の強化，自立・活性化，防災・減災対策の促進等の観点から，行財政上の課題を調査・研究し，政府等への政策提言等を行うとともに，地方自治体と連携した地方分権改革の気運醸成や，中国地域または中四国地域の広域的な検討が必要とされている課題について，官民連携した対応策を協議し，必要に応じて共同施策を実行する。

| 活動指標（KPI） | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|---|---|--|--|-----|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| <p>○地域活性化（経済発展・地方創生）に資する税制改革等の推進</p> <p>〔 提言要望 1回/年 啓発活動 1回/年 〕</p> | <p>調査・検討 → 調査・検討 → 調査・検討 → 調査・検討</p> <p>△ △ 政府への提言・要望 (税制改革, 総括)</p> <p>△ 地方分権改革・広域連携気運醸成に資する啓発活動</p> | <p>△ △ 政府への提言・要望 (税制改革, 総括)</p> <p>△ 地方分権改革・広域連携気運醸成に資する啓発活動</p> | <p>△ △ 政府への提言・要望 (税制改革, 総括)</p> <p>△ 地方分権改革・広域連携気運醸成に資する啓発活動</p> | 行財政 |
| <p>○行政と連携した課題解決の推進</p> <p>〔 中国地域発展推進会議 2回/年 中四国サミット 1回/年 〕</p> | <p>広域的な課題の検討・対応</p> <p>△ △ 発展推進会議</p> <p>△ 中四国サミット</p> | <p>広域的な課題の検討・対応</p> <p>△ △ 発展推進会議</p> <p>△ 中四国サミット</p> | <p>広域的な課題の検討・対応</p> <p>△ △ 発展推進会議（事務局）</p> <p>△ 中四国サミット</p> | 共通 |

■ 地域社会を支える人づくり

1. 産業振興を支える人材の育成

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|--|--|
| <p>若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲の醸成、プロフェッショナル人材の育成</p> <p>○産学官連携による、学生～社会人に対する連続したキャリア教育・リカレント教育の仕組みづくり (再掲)</p> <p>○起業に対する高い意欲とスキルを持った若者の育成 (再掲)</p> | <p>①企業人材の育成支援(リカレント教育) (P30記載再掲) 当地域に不足している高度ICT人材を中心に、企業のニーズに即した人材育成を推進する</p> <p>○企業が求める人材育成に必要なカリキュラム等の見える化 ・<u>企業の求める人材の育成に向けたステップと必要なカリキュラム等を紐づけたICT人材育成ロードマップの作成</u> ・<u>2020年度作成カリキュラムマップの活用促進・アップデート</u></p> <p>○企業ニーズに即したカリキュラムの構築・展開 ・<u>受講の時間・場所の制約のない安価で実践的なカリキュラムの構築・実施・広域展開の支援</u> ・<u>データサイエンス領域において、企業ニーズに即した”デファクトカリキュラム”を構築し、地域内に幅広く展開する(大阪大学(HRAM)と連携)</u></p> <p>○ものづくり中堅・中小企業に対するICT人材育成支援 ・<u>中堅・中小企業のデジタル技術実装推進に向けてキーパーソンを育成(現場に密着し、ICTによる課題解決を通して人材育成を行う機関と連携)</u></p> <p>②学生の育成支援(キャリア教育, アントレプレナー教育) (P30記載再掲) 若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲を醸成する</p> <p>○大学キャリア教育との連携強化による、学生の地域企業認知度の向上と地域への定着促進 (学生と教職員による地域企業訪問の促進)</p> <p>〔学生向け「ビジネスアイデア創出・プラン作成セミナー」を開催 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国を開催〕</p> |

人口減少・少子高齢化が進むとともに、デジタル技術の活用やオープンイノベーションの推進等による地域の産業振興・競争力強化を支える人材の育成が喫緊の課題となる中、学生と地域企業との交流の場づくりによる若手人材の地域定着促進、リカレント教育による企業内の高度ICT人材や産学官連携推進人材の育成支援等に取り組む。

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|----------------------------------|--|--|--|--------------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| (「地域で人材を育てる」文化の情勢を目指す取り組み) | | | | |
| ○人材育成ロードマップ公開 (3月) | △ WG開催 △ マップ公開 △ リカレント講座 | △ WG開催 △ マップ更新 △ リカレント講座 | △ WG開催 △ マップ更新 △ リカレント講座 | 産業技術 情報通信 |
| ○リカレント講座開設 (1件/年) | ・実践的カリキュラムの構築・実施支援 ・企業モニター実施 (カリキュラムのブラッシュアップ) | ・実践的カリキュラムの構築・実施支援 ・企業モニター実施 (効果の確認、カリキュラムのブラッシュアップ) | ・参加企業拡大 ・広域展開 | |
| ○カリキュラムへの企業ニーズ反映 (100名モニター実施) | ・初級コースと入門コースに集中して、ニーズを把握～カリキュラムに反映 | ・ニーズを反映して、初級と入門、基礎の3つの領域のカリキュラムのブラッシュアップを実施～効果確認 | ・参加企業拡大 ・広域展開 | |
| ○キーパーソン育成 (10名/年) | △ 育成講座 | △ 育成講座 現場の課題解決モデル事業 | △ 育成講座 現場の課題解決モデル事業 | |
| ○企業訪問受入れ企業の拡大 (15社/年) | 産学官連携によるキャリア教育推進方法の検討 教職員企業訪問の実施 | 産学官連携キャリア教育の仕組に関する提案 教職員企業訪問の実施 | 産学官連携キャリア教育の広域化の検討 教職員企業訪問の実施 | |
| ○セミナー開催 (参加校数 10校 学生数 30名) | △ ビジネスプラン作成セミナー (モチベーションアップ イベント) △ △ CVG中国・全国 | △ ビジネスプラン作成セミナー (モチベーションアップ イベント) △ △ CVG中国・全国 | △ ビジネスプラン作成セミナー (モチベーションアップ イベント) △ △ CVG中国・全国 | |

2. 多様な人材の活躍推進

| 中期事業計画 (達成目標・3年後に目指す姿) | 2021年度事業計画 活動内容 |
|---|--|
| 働き方改革・多様な人材活躍等の推進 | |
| <p>○働き方改革・多様な人材の活躍推進による生産性の向上とイノベーションの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革・多様な人材活用を積極的に推進する企業の割合 〔(2020年11月) 54%→75%〕 ・中国地域の待機児童数 〔(2020年4月) 459人→0人〕 | <p>①働き方改革の一層の推進と企業の人材確保への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における新たな働き方を含む事例紹介や講演会の開催、意見交換の場の提供等により働き方改革・生産性改善に向けた企業の主体的な取り組みを支援 ・大学等と連携した「オンリーワン・ナンバーワン企業」冊子・Webサイト等の活用による企業の人材確保支援（大学生の地元就職・UIJターン促進支援） ・「オンリーワン・ナンバーワン企業」紹介情報の拡充 <p>②女性による起業・イノベーションの推進と女性活躍のロールモデルの顕在化促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政・金融機関等と連携した中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERUの開催 ・女性起業家のネットワーク化・事業化を支援 ・自治体等と連携した企業実務者レベル対象のセミナー・研修会開催による女性社員の職域拡大・キャリアアップ支援 <p>③外国人材活用の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学等と連携した「オンリーワン・ナンバーワン企業」冊子・Webサイト等の活用による留学生の中国地域への就職促進 ・コロナ禍における中国地域の外国人雇用状況・課題把握のための調査、課題解決に向けた環境整備等要望の実施 ・自治体および関係団体等と連携した外国人材受入環境整備等に係るセミナー開催や企業と外国人材の交流会開催等による企業の外国人材活用の支援 <p>④働き方改革・就労と子育てが両立できる環境整備等に関する調査・提言・要望の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を踏まえたテレワーク等を含む働き方改革に関する調査・提言・要望の実施 ・人口減少対策および就労と子育てが両立できる環境整備に関する調査・提言・要望の実施 |

Ⅲ. 行政・経済団体等との連携・懇談活動等

| 事業項目 | 活動内容 |
|-------------|--|
| 行政・経済団体との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地域発展推進会議や中四国サミット等を通じ、行政と経済界が一体となった広域的課題への対応を促進 ○ 中国地方経済懇談会や西日本経済協議会等の活動を通じ、経済団体間の交流促進・連携強化 |
| 懇談活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方選出の国会議員と懇談会を開催し、国等への提言・要望への支援を働きかけ ○ 地区会員懇談会や新会員懇談会を開催し、会員の意見を事業活動に反映 |
| 支援・協働活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域経済研究推進協議会や中国地域産学官コラボレーション会議を通じ、地元の大学・シンクタンクの研究活動や産学官のコーディネート機能の強化を支援 ○ デジタル技術活用推進組織を通じ、地域課題解決やオープンイノベーション促進を支援 ○ 各種審議会や委員会等への参画を通じ、地域の活性化に資する活動を支援 |
| 広報・組織強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会報・ホームページによる広報やマスコミへの情報提供を通じ、事業活動への理解促進・認知度向上 ○ 組織基盤の強化に向けた新規会員勧誘 |

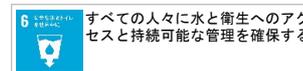
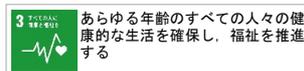
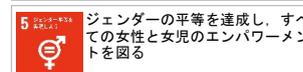
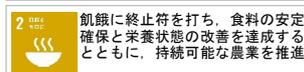
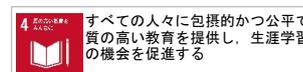
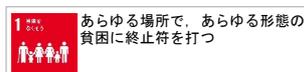
コロナ禍により新たな働き方が求められ、生産年齢人口の減少に伴う人手不足に加え、高度・専門・グローバル人材やダイバーシティへのニーズが高まる中、企業の働き方改革の推進や人材確保の取り組みを支援するとともに、女性、外国人を含む多様な人材の活躍推進に向けた促進事業および啓発活動を行う。

| 活動指標 (KPI) | 活動スケジュール | | | 委員会 |
|---|---|---|---|--------------|
| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | |
| ○働き方改革・企業の人材確保への支援 働き方改革等啓発活動 2回/年 大学等と連携した企業の人材確保支援 1回/年 ○女性による起業の推進 女性起業支援事業 1回/年 ○外国人材活用支援 外国人材活用支援事業 1回/年 ○働き方改革等の条件整備 調査・提言要望 1回/年 | 働き方改革の取り組み支援 △啓発活動 大学等との連携 △ 企業紹介情報拡充 ビジネスプラン募集・審査・表彰 △ サポート △ 女性起業家の交流促進事業 △ 女性活躍促進事業 △ 外国人材活用支援事業 △ 環境整備等要望 外国人材活用支援事業 働き方改革等への取組状況や課題に関する調査実施 △ 環境整備等要望 | 働き方改革の取り組み支援 △啓発活動 冊子・Webサイトを活用した人材確保支援 大学等との連携 △ 企業紹介情報拡充 ビジネスプラン募集・審査・表彰 △ サポート △ 女性起業家の交流促進事業 △ 女性活躍促進事業 △ 外国人材活用支援事業 △ 環境整備等要望 外国人材活用支援事業 働き方改革等への取組状況や課題に関する調査実施 △ 環境整備等要望 | 働き方改革の取り組み支援 △啓発活動 冊子・Webサイトを活用した外国人材の中国地域への就職支援 企業の人材活用課題のフォロー △ 環境整備等要望 外国人材活用支援事業 働き方改革等への取組状況や課題に関する調査実施 △ 環境整備等要望 | 地域づくり |

2021年度事業計

SDGs (持続可能な開発目標)

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- 「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。



2021年度事業計画

| 事業活動の柱 | 事業項目 | | |
|--------------------|----------------------------|---------------------------------------|--|
| 地域産業の振興 | 1. 地域産業の競争力強化と成長産業の創出 | (1) Society5.0実現に向けたイノベーション・エコシステムの構築 | |
| | | (2) 産学官連携の推進による新たな技術・製品開発の取り組み支援 | |
| | 2. 海外との経済交流拡大による地域産業の活性化 | (1) アジア新興国等への企業進出支援、事業展開・輸出促進 | |
| | | (2) 外国人材の活用促進 | |
| | | (3) 中国地域企業の国際化に有用な情報収集、海外視察・調査の実施 | |
| | 3. 山陽・山陰ブランド育成による観光産業の振興 | (1) コロナ禍を踏まえた観光資源の磨き上げ | |
| | | (2) インバウンド回復を見据えた情報発信 | |
| | | (3) インバウンド回復を見据えた受入環境整備 | |
| | 4. グリーン成長に向けたエネルギー・環境政策の推進 | (1) エネルギー・環境政策に関する調査・啓発活動と政策要望 | |
| | | (2) 脱炭素イノベーション創出の促進 | |
| | | (3) 民生部門における脱炭素化の促進 | |
| | 広域経済圏の形成に資する基盤整備の促進 | 1. 圏域の拠点となる都市の機能強化 | (1) 広域連携・都市機能の強化に向けた提言、行政との連携強化 |
| | | 2. 中山間地域の再生 | (1) 持続可能な中山間地域モデルの事業化・普及推進 |
| | | 3. 広域的な連携・交流を促進するネットワークの整備 | (1) 交通・情報インフラ等の基盤整備・利活用の促進 |
| | | | 4. 地域の活性化に資する地方分権等の実現 |
| | 地域社会を支える人づくり | 1. 産業振興を支える人材の育成 | (1) 若者の地域企業への定着促進・挑戦する意欲の醸成、プロフェッショナル人材の育成 |
| 2. 多様な人材の活躍推進 | | (1) 働き方改革・多様な人材活躍等の推進 | |
| 行政・経済団体等との連携・懇談活動等 | | | |

